

# 羽ばたけ 大空へ

# 答



## 令和3年度鹿屋体育大学新入生の皆さんへ

鹿屋体育大学長 松下雅雄



ここであります。また、今日までご子弟を温かく見守り、ご支援を惜しまれなかつた保護者の皆様をはじめ、関係者の皆様方に、心からお祝いを申し上げます。

令和3年度の入学式は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、縮小して開催することとなりましたが、新入生をはじめ、参加する皆様の健康・安全を第一に考えた結論であることをご理解ください。

さて、我が国では「スポーツを通じて幸福で、豊かな生活を営むことは全ての国民の権利である」ことを法律として謳っております。

スポーツの健全な発展と推進のためには、科学的に裏付けられた理論と方法に従った指導が必要

不可欠になります。鹿屋体育大学はスポーツに関する科学をさらに発展させる使命を持った大学であり、その研究成果を基に、将来のリーダーを養成し、社会に貢献することを目的とした大学であります。

鹿屋体育大学では、教育目標を達成するために、スポーツ・健康・武道分野に関する専門知識、実践力、実技力や指導力、つまり「できる、わかる、そして伝える」能力を学べるようにしてあります。これらの専門能力を各自が目指す目標に向け、しっかりと修得してください。

皆さんが今もっている夢をかかえるためには、夢をもつて夢を具体的な目標に書き換え、目標達成のために計画を立て、

実行することが求められます。そして、教育課程に開設された授業科目の中から、自分が目指す有為な人材に必要な科目を選択し、各自の時間割を作成し、学んでいくことになり。

鹿屋体育大学に入学された皆さんは、スポーツを「する人」を目指すにせよ、「支える人」を目指すにせよ、これからの学生生活において教職員と一緒に、体育学、スポーツ科学を学習し、研究していただき、スポーツ・健康・武道分野の発展、社会に必要なリーダーとしての能力を修得していただきたいと思っております。

大学における学びは、ただ知識を習得するだけでなく、自分の考え方を創るところです。これからの社会においては、知識を手に入れるだけでなく、自分の考えをしっかりと聞けること、そして、

この新聞は公益財団法人鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団の支援を得て鹿屋体育大学の学生及び関係者の活躍・動向等をお知らせしています。

編集：鹿屋体育大学  
発行：公益財団法人鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団  
編集責任者：鹿屋体育大学長  
発行人（発行責任者）：財団理事長 風呂井 敬  
財団事務局：〒891-2393 鹿屋市白水町1番地内 0994-46-4827（直）



自分の考えを伝えられることが必要になります。加えて、リーダーには、専門的知識と能力だけでなく、教養とマナーのある行動力が求められます。そのためにも教員や友人との対話・交流を大事にしてください。

本学は鹿児島県鹿屋市にありますが、全国各地からの仲間、海外からの留学生が集まっています。ぜひ、全国や世界に広がる友情を築いていただきたいと思っております。そして、ここ大隅の皆様方は学生諸君を温かく迎え、本学の教育研究をご支援してください。

ぜひ、地域の皆様方とも交流し、この大隅の地を第二の故郷と思い、がんばってください。

新入生の皆さんへの期待と激励を述べて、お祝いの言葉といたします。  
※入学者数は入学式の令和3年4月5日現在

全国から花々の便りが次々と舞い込む頃となりました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございませう。在学生を代表し、心からお祝いを申し上げます。

これから皆さんは、新しい生活の幕が開かれるわけですが、この日を迎えているのでしよう



か。不安や期待、さまざまな思いを巡らせていることと思っております。

ここ鹿屋体育大学は豊かな自然や充実した教育・研究施設、体育・スポーツ及び武道を専門に教授する先生方など、勉強や専門分野に打ち込める環境が整っています。また、全国各地から集まった志高く持つ仲間たちが何よりも強い刺激を与えてくれます。ここで培っていく多くの経験は生涯の大きな財産となることでしょう。

現在、世界から日常という言葉を奪ったコロナウイルス感染症による災禍は、生活の全ての側面に困難を与え、社会を急速に変化させています。次世代社会を牽引する私

今日から始まる大学生活は、皆さんに自由と無限の可能性を与えてくれます。失敗を恐れずに、自由を楽しんで新しいことに挑戦してください。ぜひ、皆さんにはこれからの未来への期待を大きく抱き、自らの手で理想のキャンパスライフを実現させて欲しいと思っております。

そして鹿屋体育大学で培った経験を生かして、変化の時代を共に生き抜いていきましょう！

最後になりましたが、新入生の皆さんの今後のご活躍を心よりお祈り申し上げます。歓迎の言葉とさせていただきます。



合計230名は、入学の許可を受け、ここに鹿屋体育大学の学生となる

### 宣誓の言葉

令和3年度新入生代表 宮城 昭奈  
武道課程（首里高等学校・沖縄）3年

私たちが、  
・体育学部 スポーツ総合課程 130名  
・武道課程 52名

・第3年次編入学スポーツ総合課程 19名  
・大学院体育学研究科 体育学専攻 修士課程 18名 及び 博士後期課程 7名  
・スポーツ国際開発学 共同専攻 修士課程 2名  
・大学体育スポーツ高度化 共同専攻 後期3年の課程のみの博士課程 2名

ことができました。国立大学唯一の体育大学である、この鹿屋体育大学に、入学できましたことは、最高の喜びであり、榮譽であります。

私も、専門とするなご指導を通じて、先生方のご指導を仰ぎながら、先輩や同期の学生と切磋琢磨し、豊かな人格の形成をめざす所存です。

私たち入学生一同は、学則及び関係規則を遵守するとともに、本学創設の理念にのっとり、品位を保ち、実践的な体育指導者等を目指して、学業及び競技力の向上に励むことを、ここに誓います。

ミズノスポーツ振興財団は、スポーツの振興・普及を目指し、スポーツを愛する人たちを応援しています。

# 令和2年度冠スポーツ奨学金贈呈式と 令和3年度スポーツ奨学金証書授与式を開催

3月23日に鹿屋体育大学水野講堂大ホールで、「公益財団法人鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団スポーツ奨学金贈呈式及び奨学金証書授与式」が行われました。本財団では国内外の競技大会で優秀な成績を取った学生や競技団体に對して、毎年「冠スポーツ奨学金」を贈呈しています。令和2年度は陸上競技部、体操競技部、男子バレーボール部、女子バレーボール部、自転車競技部、女子バレーボール部の6個人活動団体において29名、2団体に贈呈しました。令和3年度は、陸上競技部の3名と体操競技部の2名に贈られました。これまでは卒業式と入学式の前後に2回に分けて贈呈式と授与式が行われていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として大きな会場で、規模を縮小しての開催となりました。受給者を代表して、体操競技部の杉野正亮さん（鯖江高等学校、福井）が「試合や大会の数が減り、不安と戸惑いの中で練習を続けてきましたが、ご指導してくださった先生方や風呂井理事長を始めとする財団の皆様からの手厚い支援のおかげで成長することができました。来年度は私自身の最大の目標である東京オリンピックで金メダルを取ることを目標にこれからも精進してまいりますので今後とも変わらぬご支援をよろしくお祈りいたします」とお礼の言葉を述べました。

風呂井敬理事長からは「さまざまな大会が中止、延期されたにもかかわらず、競技成績を収められたこと、本日財団の奨学金を授与できたことを理事長として大変うれしく思います。これからも高い志を持って目標に向けて努力しながら切磋琢磨し、国内あるいは世界で通用する選手になっていただきたい」と激励の言葉が贈られました。



受給者代表挨拶を述べる  
体操競技部杉野正亮さん



激励の言葉を述べる風呂井理事長



陸上競技部



体操競技部



女子バレー部・男子バレー部



自転車競技部



カヌー部

## 令和3年度 冠スポーツ奨学金給付企業 (50音順)

企業等名	代表者名
医療法人秋津会徳田脳神経外科病院	理事長 徳田 元 様
おおうら皮ふ科	院長 寺崎 祐太郎 様
カイコー株式会社	代表取締役社長 宝地 雅浩 様
株式会社鹿児島銀行	取締役頭取 松山 澄寛 様
株式会社かのや寿自動車学校	代表取締役 水口 拓己 様
株式会社きたやま	代表取締役 北山 勉 様
旭信興産株式会社	代表取締役 大石 博資 様
小鹿酒造株式会社	代表取締役 日高 裕二 様
有限会社寿スポーツ	代表取締役 二川 健治 様
サツマガス工業株式会社	代表取締役 宮 蘭春人 様
株式会社新生社印刷	代表取締役 岡崎 洋人 様
医療法人青仁会池田病院	理事長 池田 徹 様
大海酒造株式会社	代表取締役 河野 直正 様
有限会社風呂井会計	代表取締役 風呂井 敬 様
株式会社丸屋	代表取締役社長 家迫 崇史 様
公益財団法人ミズノスポーツ振興財団	会長 水野 明人 様
株式会社ミズホ商会	代表取締役 田中 丈尋 様

## 令和2年度 冠スポーツ奨学金 (個人)

競技部	氏名	大会名	種目	順位
陸上競技部	岩崎 孝史	天皇賜盃第89回日本学生陸上競技対校選手権大会	男子三段跳	3位
	山本 渚	天皇賜盃第89回日本学生陸上競技対校選手権大会	女子走幅跳	1位
	小林 青	第104回日本陸上競技選手権大会	女子走幅跳	2位
体操競技部	中島 紗弥	天皇賜盃第89回日本学生陸上競技対校選手権大会	男子1500m	1位
	市口 大和	第74回全日本学生体操種目別選手権	女子5000m	1位
	杉野 正亮	第74回全日本学生体操競技選手権大会	あん馬	1位
	藤巻 竣平	第74回全日本学生体操競技選手権大会	鉄棒	1位
	上山 廉太郎	第74回全日本学生体操競技選手権大会	ゆか	2位
	金田 希一	第74回全日本学生体操競技選手権大会	ゆか	2位
	山下 将人	第74回全日本学生体操競技選手権大会	つり輪	3位
男子バレーボール部	山下 将人	第32回全日本ビーチバレーボール大学男子選手権大会		2位
	林田 薫	第56回全日本学生カヌースプリント選手権大会	女子カヤックシングル500m	2位
	溝口 朋美	令和2年度SUBARU日本カヌースプリント選手権大会	女子カヤックペア200m	3位
	橋 沼新	第56回全日本学生カヌースプリント選手権大会	男子カヤックシングル200m	1位
	下屋敷 泰成	第56回全日本学生カヌースプリント選手権大会	男子カナディアンペア1000m	2位
	岩山 瑞	令和2年度SUBARU日本カヌースプリント選手権大会	男子カナディアンペア500m	2位
	安内 久海	令和2年度SUBARU日本カヌースプリント選手権大会	男子カヤックペア200m	2位
	吉田 俊吾	第56回全日本学生カヌースプリント選手権大会	男子カナディアンフォア1000m	2位
	高比良 海斗	第56回全日本学生カヌースプリント選手権大会	男子カナディアンペア200m	1位
	下屋敷 泰成	令和2年度SUBARU日本カヌースプリント選手権大会	男子カナディアンペア500m	1位
自転車競技部	田中 智貴	令和2年度SUBARU日本カヌースプリント選手権大会	男子ロードレース	3位
	池原 黎雅	令和2年度SUBARU日本カヌースプリント選手権大会	男子ロードレース	3位
	重満 丈	2020全日本学生個人ロードレース大会	男子ロードレース	3位
	石成 夢乃	2020全日本大学自転車競技大会	女子マディソン	2位

## 令和3年度 冠スポーツ奨学金給付対象学生

競技部	コース	氏名
陸上競技部	スポーツ総合課程4年	小林 青
	スポーツ総合課程4年	岩崎 孝史
	スポーツ総合課程4年	中島 紗弥
体操競技部	大学院修士課程1年	杉野 正亮
	スポーツ総合課程4年	藤巻 竣平

## 令和2年度 冠スポーツ奨学金 (団体)

競技部	大会名	団体名	順位
体操競技部	第74回全日本学生体操競技選手権大会	男子団体総合	2位
女子バレーボール部	第67回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会		1位

自宅・アルバイト先

DIRECT!

学校・寮

★その日のスケジュールに合わせて1時間おきにダイレクト送迎  
忙しい学校生活の強い味方です!!

★提携会社による分割払いも月々5000円からご利用になれます

心豊かな車社会を願う

## 寿自動車学校

ご予約・お問い合わせ TEL 0994-43-2627 E-mail: info@kotobuki-ds.jp

〒893-0013 鹿児島県鹿屋市礼元1-13-30 県公安委員会指定教習所[技能試験免除]  
ホームページURL http://kotobuki-ds.jp

農業機械  
株式会社  
**ミズホ商会**

http://www.mizuho.kubota.ne.jp

〒893-0009  
鹿児島県鹿屋市大手町12番1号  
TEL (0994) 43-4178  
FAX (0994) 44-9371

【営業所】  
鹿屋・高山・志布志・岩川・  
牧之原・野方・垂水・大根占

## 汲水の御注文 浄化槽の管理

水質安全に  
全力投球

鹿屋市許可 株式会社 西日本浄化サービス

代表取締役 田中ふみ子  
鹿屋市王子町4531-2  
TEL (0994) 43-3425

あなたの町に、レモンガス

株式会社レモンガスかごしま  
鹿屋支店

鹿屋市大浦町11423番地1  
0994-42-2181

卒業生インタビュー

地元へ貢献したい！



鹿屋市役所 市長公室地域活力推進課 課長補佐 6期生 内倉 康孝さん

【プロフィール】

うちくら・やすたか。1970（昭和45）年6月18日生まれ。鹿屋市出身。1993年3月、鹿屋体育大学体育学部武道課程卒業。同年4月、鹿屋市役所入庁。剣道教士七段。現在鹿屋市立田崎中学校剣道部外部指導者、田崎武道館代表、鹿屋市剣道連盟理事長、鹿児島県剣道連盟理事。主な競技歴は全九州学生剣道選手権大会優勝。全日本学生剣道東西対抗試合優秀選手。全日本学生地域対抗剣道大会優勝。

「日常生活即剣道」。普段の生活がそのまま剣道の試合の結果にでる、と鹿屋体育大学の剣道部時代に指導教員だった故國分友先生（範士八段）から教わった言葉をいつも大事にしてきたという。取材中、内倉康孝さんから幾度となく飛び出した「恩返しをしたい」という言葉から、鹿屋体育大学での4年間がいかに充実していたかが伝わってきた。「株式会社おおすみ観光未来会議」でのチーフディレクターとしての任務を終えて、この4月に派遣元の鹿屋市役所に戻った。地元を愛し、剣道を愛し、鹿屋体育大学の卒業生であることを誇りに、常にチャレンジ精神を忘れない。穏やかななかにもゆるぎない闘志をいつも胸に秘めている。そんな気がした。

「剣道はいつから始めたのですか。」 内倉 小学2年生です。私が生まれ育った鹿屋市の田崎地区は当時剣道が盛んで、小学校に入るとほとんどの子どもたちが剣道を習っていました。町内放送で団員募集が流れたのを聞いて、自分が剣道をする姿を思い浮かべて入団を決めたことを今でも鮮明に覚えています。

「鹿屋体育大学に進学したいと思ったのは？」 内倉 小学校の高学年の時に鹿屋に国立で唯一の体育大学ができるという話を聞き、当時の剣道の道場の先生から「内倉は鹿屋体育大学に行くんだぞ」と刷り込まれまし

「家から通える大学で、剣道ができるっていいな」と思っていました。が、中学3年生の時に1期生で剣道部の濱田臣二先輩が家庭教師に来ていただき、さらに行きたいと思うようになりました。

「念願がなつて進学できていかがでしたか。」 内倉 今の私があるのは鹿屋体育大学に入ったことと、剣道をしたお陰だと思っています。剣道は上下関係が厳しい世界ですが、鹿屋体育大学は指導者を育成する大学という点で、「自分のことは自分でやる」というのが基本でした。かといってみんなちゃんとわきまをきいて、とても良い環境で過ごしていました。

「好な関係を築くことができました。剣道も学問も志を高く持てば持つほどやりのある大学だ」と思っています。

「学生時代の思い出は？」 内倉 剣道部、特に同期の仲間と稽古に励み、遊んだ日々はかけがえのない時間でした。自宅から通っていたので鹿屋高弁のイントネーションが抜けて、部員を注意しているときもアクセントが変わるとか叱っているのに笑われたり、休み時間に鹿屋島弁講座を開いていたので、同期に内倉のおかげでヒアリングはできるよかったです。真剣試し斬りを取り入れた「武道ツーリズム」が印象に残っています。

「コロナの前はインバウンドが目立っていました。外国人に剣道に興味をもっていたり、最初は切り口としてインパクト

があると思う。剣道部の前阪茂樹先生に相談したところ、快く協力していただきました。鹿屋体育大学の剣道部は全国でも有名で、多くの一流選手を輩出しています。道場も立派で、ここでの体験は貴重で価値が高く、個人的にも「おおすみの武道ツーリズム」に非常に高い可能性を感じています。

「4月から鹿屋市役所に戻りました。今後の目標は？」 内倉 これまでの経験や知識を生かして、鹿屋市民が安心して暮らすよう、市役所の先輩からいただいた「向き・不向きよりも前

向き」の言葉で心機一転、また新たな気持ちで行政の仕事に取り組みしていきたいと思っています。剣道は途中10年ほどの活動で離れておりましたが、青少年の剣道の指導と育成にも取り組んでいこうと思っています。

今年4月1日付けで鹿屋市役所より着任いたしました。平成11年に鹿屋市立田崎中学校に入学し、約22年間、県内の各所で整形外科診療に携わってまいりました。膝関節外科、スポーツ整形外科を専門にしました。外來診療・手術などの臨床業務と膝に関する研究などを行ってまいりました。

令和3年4月1日付けで鹿屋市役所より着任いたしました。平成11年に鹿屋市立田崎中学校に入学し、約22年間、県内の各所で整形外科診療に携わってまいりました。膝関節外科、スポーツ整形外科を専門にしました。外來診療・手術などの臨床業務と膝に関する研究などを行ってまいりました。

4月1日付けでスポーツ・武道実践科学系の講師として採用されました。野球を専門としており、競技スポーツ論・実習（野球）とソフトボールを担当いたします。研究については、野球のパフォーマンス、自己調整学習能力や集団凝集性など、個人やチームのパフォーマンス向上のための研究を進めてまいります。

広島県生まれ、高校時代までを過ごした後、24期生として鹿屋体育大学に入学しました。広島カレッジに憧れ、幼少期から野球に打ち込み、大学4年生まで競技を続けました。大学卒業後、鹿児島県の中学校で体育教師を3年間務めた後に母校に戻って参りました。25歳から現在まで、本学硬式野球部の監督を7年間務める中で、体育学専攻修士課程、筑波大学との共同専攻博士課程を修了しました。昨年度は、教育企画・評価室の特任助教として本学の教育に関わらせていただきました。

「課外活動団体紹介」カヌー部。鹿屋体育大学カヌー部は現在、男子14名、女子1名、合計15名で活動しています。私たちが下流を流れるカヌー競技は激流の中を静かに流れる静水に競う競技です。カヌー部は週3回のウェイトトレーニングとほぼ毎日、大隅湖に通い水上練習を行っています。現在は、大隅湖にロングメニューを行い、基礎体力向上トレーニングに力を入れています。チームメイトであり、ライバルでもある仲間と互いに切磋琢磨し日々の練習に励んでいます。毎年、数多くの部員がインカレや全日本選手権で結果を残しており、去年は目標としていたインカレ総合優勝という強い思いが実現しました。今年もインカレ総合優勝を目指し、カヌー部一丸となって練習に励みたいと思います。今後とも応援をお願いします。

課外活動団体紹介 カヌー部. Photo of the canoe team.

高校時代に野球で肩を痛めたことがきっかけで整形外科医になることを志し、多くのスポーツ障害の治療をしてきました。手術が良くても、元のスポーツレベルに復帰できない患者も多く見られました。やはり、まず怪我をしない体づくり、すなわち障害予防が大事であり、また術後のアスレチックリハビリテーションなどの再発予防の重要性も強く感じるようになりました。

今後、このような障害予防・再発予防の研究を行いながら、学生へスポーツ医学の大切さを教え、今後スポーツに関わる仕事に就く可能性の高い次世代の若者の教育を頑張りたいと考えております。ご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、今後ともよろしくお願いたします。

厚盛デジタル加飾システム SUGOHAKU KIRAMEKI. 印刷物へ新たな付加価値を. 厚盛クリアニスによるリアルなテクスチャ感.

MOVE It's your future. 寿スポーツ. 鹿屋市新川町603-2 TEL 0994-44-2123

大酒造株式会社. まっすぐに。正直に。たいかい. 〒893-0016 鹿児島県鹿屋市白崎町21番1号 電話(0994)44-2190 FAX(0994)40-0950

株式会社 新生社印刷. ヒューマン印刷. 鹿屋市礼元1丁目22-34 0994-43-2238. URL http://www.shinsei-p.co.jp E-MAIL kan@shinsei-p.co.jp

# 第10回日本山岳グランプリ「グランプリ」 長年の功績に対して山本正嘉教授が受賞

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会が平成22年度から実施している顕彰制度「第10回日本山岳グランプリ」において、国際・アルパインクライミング委員会から推薦された鹿屋体育大学の山本正嘉教授（スポーツ生命科学系）が「グランプリ」を受賞しました。この賞は長年にわたる登山・クライミング実践者や山岳文化研究者などの中から、現在も活動を継続し、顕著な記録や実績を挙げ、国内外において高い評価を得た個人またはグループに与えられます。山本教授は「トレーニング科学」をキーワードに、これまで40年近く教育と研究に携わってこられました。中学3年生の春に登山に目覚め、東京大学でも山岳部だったという山本教授。今回は登山やクライミングにおけるパフォーマンス向上や、安全登山の啓発に大きく寄与・尽力してきた山本教授のこれまでの功績をたたえるの輝かしい受賞となりました。



学長報告で山本教授（左）と松下学長



味しました。昔は登山をする人の多くは若者でしたが、最近では中高年が増え、体力低下が原因と思えるような事故が増えています。この分野の重要性は今後も高まっていくと感じています。

2006年からスポーツトレーニング教育研究センター長も兼務されています。かつて登山家の三浦雄一郎さんが70、80歳まで3回エベレストに登頂しましたが、その陰にはトレーニングの指導をした山本先生の存在がありました。

山本先生の研究内容は高山登山に関する高所順応の方法論・システムの効率化を究める研究、高所へ挑むためのトレーニング法の開発、さらには近年増加している一般登山者の事故防止に関する研究成果など多岐にわたっています。受賞の学長報告の際に松下雅雄学長が「この賞は一つの研究論文への評価ではなく、山本先生の長年の功績が認められたものであり、非常に素晴らしい賞だ」とコメントされました。この言葉に込められた意

まで経験論が中心だった登山界に、新たな視点を取り入れたのが山本先生でした。

山本 山でけがをしたり病気をしたときにどうするか、といった医学の分野は古くから研究が行われてきましたが、けがや病気を予防し、より安全・快適・健康的な登山をするために、あるいはより高度な登山をするために、山で自分の身体をどう扱うべきか、また普段の生活でどのようなトレーニングをすればよいのか、といったことを考える運動生理学・トレーニング科学については、これまで不思議なほど研究されてきませんでした。当時の受賞は私自身というよりも、この分野の価値が認められたことを意識しました。

2001年に「登山活動における運動生理学及びトレーニング科学の確立と啓蒙」を理由に、第4回秩父宮記念山岳賞を受賞されています。それ

マラヤ山脈のチョーオユイ標高8201mに無酸素で挑戦しました。ご自身の身体を実験台にして、今日の研究者としての山本先生がいます。

山本 当時は大勢の日本人がヒマラヤに行っていた時代で、私の周りにも山で亡くなる人がたくさんいました。自らの経験から学んだことを生かして山の事故を減らしたいと思ったことは、研究の世界に入るきっかけになりました。チョーオユイに登ったときは、高所登山のことをほとんど知らなくて高山病でひどい目に遭って体重も12kgやせたので、その後さらに本腰を入れて研究に取り組みようになりました。

著書「登山の生理学教科」に続いて発行された「登山の運動生理学とトレーニング学」は700ページ以上あり、山本先生の40年間の研究の集大成とも言える力作です。

山本 実は完成したら死んでもいいと思ったり、執筆が大変でした（笑）。自分自身の身体の仕組みを知り、安全で快適に登山を楽しんでいただくための案内書としてお役に立てたらうれしいです。

登山家ジョージ・マロリー氏の「そこに山があるから」の名言は有名ですが、山本先生は？

山本 とにかく山が好きなんです。この気持ちには中学3年生のときに初めて自分で計画を立てて秩父の武甲山に登ってから、ずっと変わっていませんね。

（取材：文/西 みやび）

## 次期学長候補に 金久博昭氏



鹿屋体育大学は令和3年3月19日に開催した国立大学法人鹿屋体育大学学長選考会において、立命館大学スポーツ健康科学部教授の金久博昭氏（67）を選んだ。文部科学大臣に任命の申し出を行い、令和4年4月1日付けで学長として任命されることになる。

金久氏は京都府出身。東京大学大学院・教育学研究科博士課程単位取得満期退学。平成22年から鹿屋体育大学教授、平成26、30年は副学長を務めた。平成31年から現職。

3月24日の卒業式の日併せて、鹿屋市茶業振興会から全国各地から入学してくる鹿屋体育大学へ、地元のお茶の美味しさを知って欲しい、また若者への普及活動の一環として学生、教職員全員にお茶が贈られました。

贈呈式では鹿屋市茶業振興会の岩元大作会長より、本学第38代体育会会長の安次嶺心さん（武道課程3年、首里高等学校・沖縄）へ4種類の試飲パックがパッケージ化されたものを「2019年の生産量・産出額として日本一に輝いた鹿屋のお茶を味わってください」とのコメン

トとともに寄贈されました。松下雅雄学長からは、地元からの温かいご支援に感謝する内容のお礼状が手渡されました。



（集合写真：左から）岩元会長、安次嶺さん、松下学長、岩元会長、西尾さん（鹿屋市茶業振興会）

### 闘いの記録 2月～3月

【テニス】  
■2021年九州学生新進テニストーナメント (3/8～13 福岡/春日公園テニスコート)  
▽男子 シングルス 1位 狩行 紀希  
▽女子 シングルス 1位 木庭 千紘  
ダブルス 1位 木庭 富濱、木庭 富濱

【サッカー】  
■第35回デンソーカップチャレンジサッカー熊谷大会 (3/3～7 埼玉/熊谷スポーツ文化公園 他)  
▽男子 4位 五十嵐、木橋、小原、根本、宮崎、山口

※九州選抜メンバーとして出場

【水泳】  
■第27回九州学生短水路公認記録会 (3/7 福岡/福岡県立総合プール)  
▽男子 100m 背泳ぎ 1位 二宮 龍之介  
200m 背泳ぎ 1位 二宮 龍之介

200m 個人メドレー 1位 横山 稀帆  
400m 自由形 1位 山田 野聖  
1500m 自由形 1位 山田 野聖

【柔道】  
■第33回全国体育系学生柔道体重別選手権大会 (3/22～24 奈良/天理大学体育学部武道館柔道場)  
▽男子 73kg級 4位 馬崎 碧思

【自転車競技】  
■第22回全日本学生選手権クリテリウム大会 (3/7 東京/明治神宮外苑外周コース)  
▽男子 クリテリウム 5位 西原 裕太郎  
▽女子 クリテリウム 2位 成海 綾香  
3位 石上 夢乃

■第4回全日本学生選手権オムニアム大会 (3/28 山梨県/境川自転車競技場)  
▽男子 オムニアム 2位 西原 裕太郎  
6位 古谷 田貴斗  
▽女子 オムニアム 2位 成海 綾香  
5位 石上 夢乃

### 授業料の納付について

令和3年度前期分授業料は、下記のとおり銀行口座引落を行いますので、よろしくお願いたします。

- 銀行口座引落日 5月27日(木)  
※新入生も同日となります。  
※前日までに引落口座へ預金してください。
- 授業料(半期分)：267,900円
- 問い合わせ先 鹿屋体育大学 経営戦略課会計室出納係  
TEL 0994-46-4840

### ありがとうございます

賛助会費は、奨学金、国際交流、学内研修等に利用させていただきます。心から感謝申し上げます。

冠スポーツ奨学金	医療法人 秋津会	カインズ(株)	(株) 鹿児島銀行	(株) かのや自動車学校	(株) さたやま	旭信興産(株)	小鹿酒造(株)	サツマガス工業(株)	(株) 新生社印刷	医療法人青仁会池田病院	大海酒造(株)	(有) 風呂井会計	株式会社丸屋	公益財団法人	ミズスポーツ振興財団	(株) ミズホ商会	宮下 礼子	宮園 秀樹	
様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様	様
(三十分円)	(三十分円)	(三十分円)	(三十分円)	(三十分円)	(三十分円)	(三十分円)	(三十分円)	(三十分円)	(三十分円)	(三十分円)	(三十分円)	(三十分円)	(三十分円)	(三十分円)	(三十分円)	(三十分円)	(三十分円)	(三十分円)	(三十分円)

鹿屋市茶業振興会から特産品「お茶」を贈呈